

フェイク・ニュース速報：“ホワイト・ヘルメット団”の

偽造ビデオ

CNN がついにフェイク・ビデオだったことを認める

【訳者注】NHK や「サンデーモーニング」のように（他は見えていない）、“フェイク・ニュース”をことさら取り上げて解説するなら、最低限、このような事実を知っておくべきである。過失や誤解でなく、明らかに報道の倫理の問題である。“ホワイト・ヘルメット団”の正体については、ダマスカス 500 万の市民の水を断とうとしたことを暴いた、記事 <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170116.pdf> でも明らかである。この他に、「シリアの“ホワイト・ヘルメット団”ハリウッドへ行く」

<http://www.globalresearch.ca/syrias-white-helmets-go-to-hollywood/5576181>

「ビデオ：シリアへの戦争：ねつ造された革命とフェイク・メディア物語」

<http://www.globalresearch.ca/war-on-syria-manufactured-revolution-and-fake-media-narrative/5577303> など、いくらでもこの関連の記事がある。

このエセ奉仕団は、アメリカ入国を許可されず、先日、日曜日のアカデミー賞授賞式に出席もできず、授賞もなかった。当然であるが、ニュースは、ハリウッドの連中がトランプ大統領を責めることに終始した。

「お前がフェイク・ニュースだ」とトランプに言われた CNN が、不承不承でも（これが特別の例外であるかのように）これを認めたことは、彼ら犯罪集団全体にとっては大きな痛手——見事な逆宣伝——になったはずである。騙しの上塗りとして“crisis actor”（ヨーロッパのテロにも見られた、何度も登場する救助され役）というものがあることについては、メディアの方々、ご自分でお調べください。

Tony Cartalucci

Global Research, November 27, 2017 (Land Destroyer, 27 November, 2016)

“ホワイト・ヘルメット団”が、ベスト短編ドキュメンタリーに与えられる、オスカー賞を受賞することになったことに鑑み、我々は読者の方々に、最初 2016 年 11 月に発表されたこの記事をお目にかけることにする。——編集者

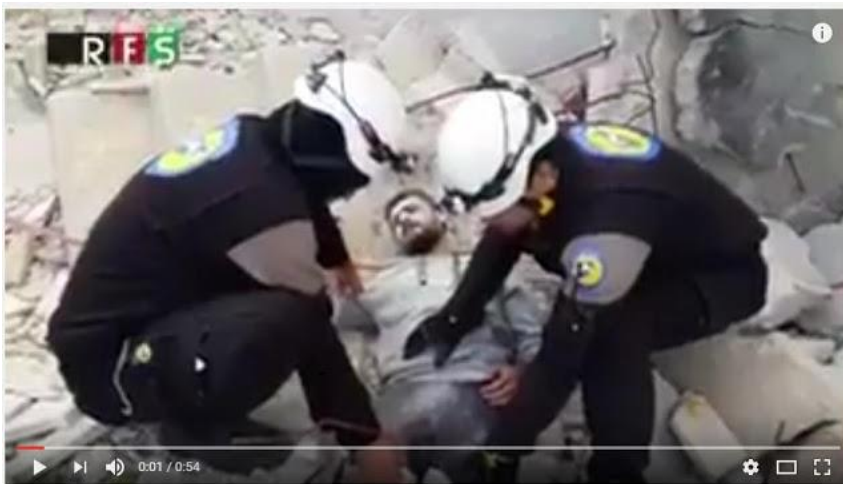


CNNは、他の多くの体制メディア機関と共に、米 - ヨーロッパの支援による“シリア市民防衛団”、別名“ホワイト・ヘルメット団”（最近、“代替ノーベル賞”を授与された）を、長いあいだ後援してきた。

ところが、11月25日、彼らは、「シリアの White Helmets が、マ

ネキン・チャレンジ（やらせ）ビデオの制作を謝罪」という記事を掲載した。彼らはそこでこう言っている――

それはよく目にする光景だ。シリア市民防衛団、別名“ホワイト・ヘルメット団”が、瓦礫に埋もれた一人の男の救助に駆け付けている。しかし、アレッポからの他の何千というビデオとは違い、これはヤラセによるものだった。



CNNは、続けてこう主張している――

この1分ほどの長さのビデオは、社会メディアではずっと批判の対象だった。水曜日、シリア市民防衛団は、それは彼らの“判断の間違い”だったという声明を出した。

“このビデオと、関連する掲載資料は、シリア市民防衛団のボランティアをもつ RFS（国境なき記者団）によって記録されたもので、彼らは、拡散用の‘マネキン・チャレンジ’を用いて、シリアの恐ろしさを外の世界に知らせようとした。これは判断の間違

いであった。そこで我々は、関与したボランティアたちに成り代わって謝罪する”と、この声明は言っている。

ここで、このビデオの説明について、“ホワイト・ヘルメット団”も、RFSやCNNもともに無視しているのは、今ヤラセと認めたビデオが、CNNが言っている“アレッポからの何千もの他のビデオ”と、事実上、区別できないという事実である。

CNNが言っている“アレッポからの何千もの他のビデオ”と全く同じく、このホワイト・ヘルメット団によって“救出されている犠牲者”は、埃と血らしいものに覆われているが、それ以外にはどこも負傷していない。本物の爆弾の場合と違って、ホワイト・ヘルメット団の“救出した”人たちは、五体満足で、目に見える深い傷を負っておらず、現代の戦闘で用いられる武器に関連する、どんな火傷やトラウマの特徴も示していない。

CNNが言う“アレッポからの何千もの他のビデオ”の中に、現実のトラウマの特徴を示すものが一つもなく、この最近のヤラセと認めたビデオや、ヨーロッパの最近のヤラセ抗議の写真（テロと言われている）のように、埃とニセの血をかぶった犠牲者ばかりというのは、本物ではありえない。

<http://landdestroyer.blogspot.com/2016/11/syria-white-helmets-caught-in-mannequin.html>

<http://landdestroyer.blogspot.com/2016/10/white-helmet-save-aleppo-protest-proves.html>

もし代替メディアの報道がなければ、CNNは“ホワイト・ヘルメット団”の騙しを取り上げただろうか？

もちろん代替メディアは、何年も前から、この“ホワイト・ヘルメット団”の正体を、シリアの政権転覆作戦中に世論を動かそうとして、西側軍が賭けとして考えついた、最大の、最も手の込んだ戦争プロパガンダとして、暴きつつある。

下のRFS（国境なき記者団）の説明は、罪の自覚もなく、弁解と非難に満ちている――

- Statement of Clarification -

**"On the Edge of Death" video... an attempt to participate in the international mannequin challenge
Assad's media turn a simulation into reality!**

The video is originally a short staged scene by RFS Media Office in contribution to the international #MannequinChallenge campaign.

The video intends to raise international awareness about the Syrian revolution in general, and the members of the Civil Defense, highlighting their role and sacrifices in protecting and saving the lives of civilians in Syria.

The video depicts the work of the White Helmets teams in the form of static mannequins to simulate reality. However, the regime used the video to distort facts and twist perceptions.

As usual, the Syrian regime's media workers took the video, abstracted of its background, and started spinning false stories about it to serve their own purposes and the purposes of Assad regime, that has been killing Syrians for nearly six years, accusing RFS media office of creating fabricated videos of rescue operations by civil defense teams.

Thus, regime and its media did prove their isolation from the human and international context. Being ignorant about a huge media campaign such as the "#MannequinChallenge" in which international figures participated such as Hillary Clinton, the former American presidential candidate, and the German Bayern Munich team, only proves regime's grave isolation from the world.

RFS Media office stresses again that the video is a simulation of reality, and is part of the international #MannequinChallenge.

The regime's allegations about "On the Edge of Death" are telling half-truths and providing partial data, following the propaganda that Assad and his allies have been waging against the Syrian people since the Syrian revolution began

最近の“マネキン・チャレンジ”ビデオが、アップロードされたとき、それを見つけ、指摘し、世間に周知させたのは、代替メディアだった。“救助隊”と思われていたものが、戦争プロパガンダのために、フェイク・ビデオを制作していたという事実を暴いたのは、代替メディアだった。こうした行動は、「ジュネーブ条約」に違反する可能性があり、基本的な倫理問題に、確実に違反するものである。

代替メディアがこれらの問題を取り上げ、RFS やホワイト・ヘルメット団を追い詰めたおかげで、やっと、CNNのような体制側メディアが、普通ならおそらく無視したであろうストーリーに、反応したのである。

してみると、CNN やワシントン・ポストのような体制メディア機関が、なぜこれほど熱烈に代替メディアに反対するのか、その理由がわかる。彼らはもはや、アジェンダを守るどころか、弁解に大わらわである。真のジャーナリズムとは、世界の出来事を正直に報告し、分析することであって、それらをつくり出して、間違った説明をすることではない。CNN な

どについて言うなら、彼らは、重大な結果を招くことなしに、このような勝手なことをする自由を、もはやもたなくなった。

代替メディアについて言えば、このような成功と、西側体制メディアが代替メディアにほとんど宣戦布告をしたという事実は、正直な報道と分析の価値を認識させる、よい機会になるはずである。それはまた、事実に従うメディアが、アジェンダに従うメディアに常に勝つということを、思い出させるものとなる。代替メディアが成長し、成功し続けようと思えば、どんなにその誘惑が大きくても、事実を偽ることはないという決断を、再確認しなければならない。